

## 川崎支部便り 第89号 (2025年06月)

オープンで各自が主役：川崎支部

川崎支部支部長 山岸一雄 (執筆：山岸))

## 人生を豊かに (雑学のすすめ)

## 【体内病院とは?】

以前、先端技術施設「**殿町スカイフロント**」の見学会でご紹介した**生体工学者**である**片岡一則博士** (ナノ医療イノベーションセンターセンター長) が「**ナノマシン**」を1990年代に開発しました。片岡博士は2045年までにナノマシンを利用した「体内病院」の実現を目指しています。**体内病院**とは、**ナノマシンが体内を巡回**して病気の発見・診断・治療をすべて自動で行い、**病気を未然に防ぐ**という未来の医療システムです。

例えば、体内を巡回して病気を感知するセンサーや、状況に応じて適切な治療を行う機能等も搭載したナノマシンの研究が進められています。ナノマシンの最も期待されている応用分野が、**がん治療**です。ナノマシンはがん組織に集積し易く、がん組織の内部の**水素イオン濃度が高い環境**では、分子構造が不安定になり、**薬剤が放出**される性質があります。つまり、ナノマシンは、**がんを狙って薬剤を届け、治療**することが出来るので、抗がん剤による**副作用を抑える効果**があります。

(NEWTON より)

## 川崎点描：川崎支部活動拠点

## 【川崎ゆかりの人 (詩人まど・みちおー川崎との関りとは?)】

- 墓参で川崎から帰郷し、祖父と祖母がねむる福田寺に参る途中に、**まどさん (88歳)**、**妻寿美さん (82歳)** が1998年に**的寄 (まどぎき) 天神** (周南市福田寺原) に立ち寄り、鳥居に石を投げあげ願掛けをしていました。国民的愛唱歌「ぞうさん」「一年生になったなら」で有名なまどさんです。
- まど・みちお (石田道雄)** (1909年 (明治42年) - 2014年 (平成26年)) は山口県周南市 (旧徳山) で9歳まで育ちました。25歳の時、まど・みちを (お) の名で絵雑誌『**コドモノクニ**』の**北原白秋選に投稿、特選**となったことをきっかけに、童謡や詩の創作に本格的に取り組み始め、1968年 (昭和43) 年に初めての詩集『**てんぷらぴりぴり**』を出版しました。以降、優れた作品を世に出し続け、**1994年 (平成6) 年には日本人初の国際アンデルセン賞作家賞を受賞**するなど国際的にも高い評価を受けました。**創作意欲の源は、政治・行政・教育・経済・戦争などに対する不満**です。国民的愛唱歌「ぞうさん」「一年生になったなら」「やぎさんゆうびん」等のおおらかでユーモラスな作品で有名です。
- 第二次世界大戦後、1946年 (昭和21年 - 36歳) に**川崎市内に居**を構え、市内の幼稚園・学校6施設の園歌や校歌の作詞をする等、**川崎市ゆかりの詩人**として、1976 (昭和51) 年に、多年の詩・童謡創作活動に対し、**川崎市文化賞を受賞**しています。  
川崎市に移り住んだ数年後に買い求めた**植物図鑑**を、まどさんは今も宝物のようにとっています。ページの端が黄ばんでいるが、若き日のまどさん とともに野山を駆け巡ったとは思えないほどきれいに、大事に大事に扱っていたのでしょう。

- まどさんの詩の中から約80編を選んで英訳し、その**魅力を海外に伝える手助け**をされたのが、**美智子上皇后**でした。まどさんの詩の考え方を著書「**いわずにおれない**」の中で、述べています。そもそも詩というものは、10人読んだら10人が違う感想をもつものでね。感じ方はひとつじゃなくていい、その人が**感じたいように感じてもらうのが一番いい**と私は思っておるんです。だから、この詩はこういうふうに読んでほしいっっちゃうことは、それをつくった私にも言えないんですよ。ただ、その**詩がどういうふうに読まれたがっているか**ということはありません。
- たとえば「**ぞうさん**」でしたら、「ぞうさん/ぞうさん/おはながながいのね」と言われた子ぞうは、からかいや悪口と受け取るのが当然ではないかと思うんです。この世の中にあんな鼻の長い生きものはほかにいませんから。顔の四角い人ばかりの中に一人だけ丸い人がおったら、本来はなんでもない「丸い」っっちゃう言葉が違う意味をもってしまう。
- ところが、子ぞうはほめられたつもりで、うれしくてたまらないというふうに「そうよ/かあさんもながいのよ」と答える。それは、自分が長い鼻をもったゾウであることを、かねがね誇りに思っていたからなんです。**小さい子にとって、お母さんは世界じゅう、いや地球上で一番。**大好きなお母さんに似ている自分も素晴らしいんだと、ごく自然に感じている。つまり、あの詩は、「ゾウに生まれてうれしいゾウの歌」と思われたがっとなるんですよ。
- 人と自分を比べて自分のほうが偉いように思ったり、逆にダメなように感じて人をうらやんだり、人のマネをしたりするのは、一生懸命でない証拠なんかじゃないかなあ。**一生懸命**になるっっちゃうことは、**自分が自分になること**。一生懸命になれば、一人ひとりの違いが際だつ。いのちの個性が輝き始める。自分が自分であること、**自分として生かされていること**を、もっともっと喜んでほしい。それは、何にもまして素晴らしいことなんですから。
- ものの本質に迫りきれないのは、どんな存在も限りなく不思議で複雑だから。この世には**不思議でないもの、複雑でないものなんてない**のです。人間は科学を使用しているが、限り圧人間の能力では届かないくらい、すべての存在が複雑精妙で珍しいのです。**人間だけが特別でない**のは確かです。
- ものを見るとき「これは本当はなんだろう」と思う感じは、いつもあります。**不思議に思う**ということは、なんだろう、どうしてだろうと思うこと。「あれは何？なんでそういうものが有るんだろう？何してるんだろう？なんでそういうふうになるんだろう？」という疑問が、**考える出発点**になります。
- 詩を書く時は、極端なことを言えば、**よけいな言葉が一文字も残らないところまで削り落とし、一行でたくさんのおもいを表現**できたら一番いい。そしてその中に、いままで見たことのない何か、**自分の新発見**だと言えるものを出していきたい。どんな**ささやかな一語、文法上の工夫**でもいいから。



(参考：しゅうなん文化財団 かるちゅあ通信 花畠)

(画像は Yahoo Japan から引用)

## 支部の活動

- ① (済) 2025年5月10日(土)の「明治大学第旧陸軍技術研究所」の見学会は、風船爆弾、毒ガス、人体実験等、戦争の暗部の資料を残していました。  
母校の元学長である八木秀次もこの研究所の顧問でした。  
参加者は25名(女性は6名)で、一般者、在校生、多くの支部(川崎+横浜+神奈川・湘南+東京)が参加しました。
- ② 2025年06月28日(土)の講演会を、自由が丘クラブで開催。  
時間：14:00～15:30  
お待ちしております。

## ご存じですか

【マンモスのクローンの作り方?】

絶滅したマンモスのクローンを作成するには、次の三つのプロセスが必要だそうです。①保存状態のいいマンモスを発掘し、体細胞を抽出する。②マンモスの近縁種であるゾウの卵子から細胞核を取り除き、マンモスの細胞核を移植する。③培養して細胞分裂させた卵子をメスのゾウの子宮に移植し、代理母としてマンモスの赤ちゃんを出産させる。

(NEWTON から)

次号もお楽しみに。皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

問合せ・連絡先：川崎支部 幹事長 松本浩一

TEL：090-9363-6082 E-mail：[kawa\\_matsu51@v00.itscom.net](mailto:kawa_matsu51@v00.itscom.net)